



公益財団法人 佐倉国際交流基金

2022年度 第1回通常理事会  
議事録



2022年5月13日(金)

## 2022年度 公益財団法人佐倉国際交流基金 第1回通常理事会 議事録

- ◎ 会議の日時及び場所  
2022年5月13日(金) 午後1時から3時  
レインボープラザ佐倉(ワークプラザ2階会議室)
- ◎ 理事の現在数 9名  
監事の現在数 2名
- ◎ 会議に出席した理事の氏名  
出席理事(8名) 宍倉昌男・熊谷隆夫・安藤忠男・下條義昭  
今村公蔵・高橋満・橘正明・山岡みち代  
出席監事(2名) 石渡孝・松井駿介
- ◎ 会議に欠席した理事の氏名  
欠席理事(1名) 鈴木博
- ◎ その他出席者  
佐倉市役所企画政策部広報課 課長 小川晃司  
佐倉市役所企画政策部広報課 主査補 池田智美  
公益財団法人佐倉国際交流基金事務局長 関口優紀  
公益財団法人佐倉国際交流基金事務局員 村瀬雅子

### 1. 開 会

関口事務局長より2022年度第1回通常理事会の開会が宣言された。

### 2. 宍倉理事長あいさつ

お忙しい中、ご出席頂きありがとうございました。

佐倉国際交流基金は、皆様のご尽力を賜りながら、事業を進めております。

2021年度の事業報告・決算報告を審査頂き、また助成金案件につきましても忌憚のないご意見を頂きたい。

#### ・議長選出

事務局長より、定款41条により議長は理事長であり、宍倉理事長に議長をお願いする旨通告された。

### 3. 会議成立報告

議長より本日の出席者は理事8名、監事2名の出席により本会議の成立が報告された。

### 4. 議事録署名人の選出

議長より議事録署名人は出席監事、および理事長の署名捺印を行う旨通告された。

## 5. 議 題

### 決議事項

- ・第1号議案 2021年度事業報告について
- ・第2号議案 2021年度決算報告について  
監事より監査結果の報告
- ・第3号議案 2022年度助成金交付について
- ・第4号議案 2022年度評議員会開催について

### 報告事項

業務執行理事の業務報告

### <議案の上程>

#### 議長

第1号議案 2021年度事業報告と第2号議案 2021年度決算報告は関連があるので、まとめて説明したのち、一括して採決する。異議はあるか。

【異議なし】

異議なしの声をうけて、事務局長より説明を願う。

#### 事務局長より第1号議案・第2号議案の説明

#### 第1号議案 2021年度事業報告

#### 事業の実施状況

##### 1. 国際相互理解推進事業〔公益目的事業 1〕

##### 1) 公開講座(佐倉市と共催)を2回開催

公開講座1「ポストコロナ時代の産業政策の論点」  
東京大学公共政策大学院 院長 教授 大橋 弘  
日 時:6月12日(土)13時30分～15時30分  
来場者はスタッフを含めて141名

公開講座2「中国とどう向き合うか 中国の国家戦略を解き明かす」  
平安女学院大学 客員教授 加藤 千洋  
日 時:9月11日(土)13時30分～15時30分  
来場者はスタッフを含めて260名  
時宜を得たテーマであり、好評であった。

##### 2) 佐倉市国際文化大学

受講生募集は計画に沿って4月後半に行い、5月開校、22回講座(うち2回は上記公開講座)を実施。

市施設の利用基準を厳正に守り、安全対策を徹底し、11月27日の修了式を無事に迎えることができた。

3) 佐倉国際スピーチコンテスト(佐倉市と共催・佐倉市教育委員会後援)  
 小中学生に対するコロナ予防を最優先に考え、人数を制限、時間短縮の上  
 10月24日(日)に開催した。  
 開始は9時、終了は12時半、前半を小学生、後半を中学生の時間にあて  
 発表者はマスク着用のうえ、実施した(小学生 10名 中学生12名)。

22年度はスピーチへの出場希望者拡大のため、従来方法に加え幼稚園から  
 成人までを参加可能とする。コンテスト日時は10月23日(日)に決定。

4) イングリッシュサロン

ファシリテーター(進行役外国人)2名により、火曜日、金曜日に開催。  
 コロナ対策を徹底し、当初計画通り5月より開始。火曜日、金曜日のクラス  
 の定員はいずれも11名。参加者は合計88名であった。

22年度は同一教場確保の観点から、水曜日5クラス 50名、金曜日3クラス  
 30名の編成とする。21年度とは、曜日とクラス数に変更がある。

2. 国際交流活動支援事業[応募申請型]〔公益目的事業 2〕

国際交流親善・多文化共生の啓発に寄与すると判断される団体・グループ等の活動支  
 援[当基金の助成金交付内規による助成金支援]である。

2021年度の助成金応募団体の活動は低調で 以下の1件のみであった。

団体名	事業名	申請金額	支給金額
佐倉中文会	中国語の学習および中国との交流活動	7,000	7,000
	合 計	7,000	7,000

(助成金合計 7,000 円)

3. 外国人支援事業(佐倉市国際化推進事業受託)〔公益目的事業 3〕

1) 外国人のための日本語講座

原則として佐倉市内に住む外国人に対して、日本語の日常会話力  
 (入門・初級・中級)の涵養、および日本人とコミュニケーションする場の  
 提供、そして外国人の児童・生徒のための日本語学習を行う。

本年はコロナとは言え対策を講じて、4月より授業を開始した。  
 昨年開講の小中学生向けの新しいクラス(AIUE さくら志津 毎週水曜日)は  
 順調にすすみ、22年度に向けて根郷地区への開講準備を進めた。

9月の緊急事態宣言発令時は、対面学習を休止、代替として、郵便学習、WEB学習などで対処した。

11月28日(日)に予定していた「日本語講座のつどい」は昨年同様中止に、それに代わるものとして学習者の作文、クラス活動の様子を取り込み、文集を作成した。

44名の作品が集まり3月後半、文集完成。寄稿者等への配布を開始。

#### 開講クラス

- ・毎週木曜日(午前・午後 合計3クラス)  
\* 但し、ベビーシッターはコロナ予防のために中止  
会場: 志津コミュニティセンター
- ・毎週金曜日(夜間 1クラス)  
会場: ミレニアムセンター佐倉
- ・隔週土曜日(午前 1クラス)  
会場: ミレニアムセンター佐倉
- ・毎週日曜日(午前 合計4クラス)  
会場: 中央公民館

#### 小中学生対象クラス

- ・毎週水曜日(午後 合計1クラス)  
会場: 志津公民館
- ・毎週土曜日(午前 合計1クラス)  
会場: 千代田・染井野ふれあいセンター

#### 対面学習状況 (カッコ内は2020年度の実績)

受講者 年間合計1421名(822名)  
出身国 中国, フィリピン, ベトナム, ネパール,  
アフガニスタン, スリランカ, ペルーなど  
日本語ボランティア講師 年間のべ数 822(411)名

#### 非対面学習状況

非対面学習は緊急事態宣言の9月及び、22年1～3月の蔓延防止期間  
LINE 活用、プリント添削など、クラスや学習者の状況に合わせての対応で  
あった(1対1対応型クラスが主に実施)。延べ学習者は29名。

#### 2)外国人のための生活相談

英語、スペイン語、中国語、合計5名の相談員と交流基金事務局員3名により、  
電話及び面接による相談を受けるとともに、学校や病院での通訳、あるいは

子育て支援などの文書の翻訳などの外国人支援活動を実施している。  
相談のみならず、佐倉市担当部課と協力して外国人への直接支援活動をも  
行っている。

相談員交流会議を年間12回計画しており、予定通り4月より開始した。

- ① 活動報告
  - ② 佐倉市のおしらせ記事選択、編集
  - ③ 生活相談員のための輪講
- 上記①～③を持ち回りで実施してる。

相談・支援件数:57件

内容別件数:日本語(24)、医療・保健(22)、日常生活(1)、子供(4)  
住居(3)、法律(1)、その他(2)

言語別件数:日本語(25)、スペイン語(7)、英語(23)、中国語(2)

(注)1 案件に複数の相談内容があるので、件数に差異がある。

上記、生活相談に加え、情報発信を強化するために「こうほう佐倉」を  
情報ベースに、「佐倉市のおしらせ」を1回/月のペースで発刊することにした。  
これは、やさしい日本語を用い、外国人にもわかりやすい内容となっている。  
21年度より広報課から各公民館などにも配布されることとなった。

#### 4. その他

1)基金 LETTERS を発行(7、12月)、事業の実施状況、賛助会員、ボランティア  
の活動などについて紹介した。

2021年7月発行

主な記事

2021年度スピーチコンテスト開催にむけて

佐倉市国際文化大学公開講座の案内

外国人のための日本語講座、生活相談

佐倉国際交流基金助成金について

国立歴史民俗博物館、DIC川村記念美術館の催し物紹介

2020年度事業報告・収支報告

2021年12月発行

主な記事

日本語学習の成果を形に残そう

イングリッシュサロンで知的交流

文化大学公開講座報告

佐倉国際スピーチコンテスト報告  
外国人のための生活相談  
国立歴史民俗博物館、DIC川村記念美術館の催し物紹介

2) ホームページの活用

基金ホームページを使って当基金の事業概要・行事・その他財務状況などを掲載し公告の一助とした。

ホームページアドレス：<http://www.sief.jp>

第2号議案 2021年度決算報告について

様式2-1(参考) 収支計算書(2021年度予算に対する収入/支出実績)

経常収益はおおむね予算通りであるが、会費収入および文化大学の収入減に対して、寄付金・協賛金がそれを補った。佐倉市からの受託費は計画通り。

経常費用は文化大学、スピーチコンテスト、イングリッシュサロン、助成金事業の支出が抑えられ、一方、佐倉市受託事業はおおむね予算通り通りの支出となった。

事業共通の収支は、ほぼ均衡している。

管理費においてはコロナ対策としての消耗品が概ね調達されたこともあり、予算14万円に対して9万円ほどの支出減となった。印刷費、会議・渉外費、通信運搬費用において、特に会議・渉外費は事業が通常の活動に戻りつつあることによる支出増である。

以上、2021年度は予算△222,000円の支出超過に対して実績は△67,659円と約15万円の改善を達成した。

様式2-1 収支計算書(2020年度実績に対する2021年度実績)

経常収益は20年度に比して約94万円の増加であり、主たる要因は文化大学が通常運営に戻ったことによる受講料収入増、寄付金(協賛金)の増である。佐倉市受託事業は前年度と同額である。

経常費用については、文化大学の通常運営になったことによる支出増、スピーチコンテストの実施による支出増である。佐倉市受託事業はほぼ予算に見合った支出となった。

管理費は20年に比し、コロナ対策費用として消耗品(温度計、パーティション、フェイスシールド、アルコールなど)が備置されたことにより、支出減となった。

以上、20年度はコロナにより活動が縮小した年となったが2021年度は事業運営もかなり回復し20年度503,436円の支出超過が67,659円と著しく改善された。

### 貸借対照表(佐倉国際交流基金全体)

流動資産は前年度比 67,659 円減の 4,979,712 円である。

基本財産は 295,442,143 円、特定資産 3,105,000 円といずれも 2021 年度と同額である。

結果として今期正味財産は前年に比して 67,659 円減の 303,526,855 円となった。

なお、佐倉国際交流基金に負債はありません。

### 貸借対照表(公益目的事業との仕分け)

流動資産は法人会計に、財政調整積立金は特定資産として公益目的事業に分類される。

正味財産合計は公益目的事業、法人会計それぞれ 150,826,072 円、152,700,783 円であり、合計 303,526,855 円となった。

### 正味財産増減計算書と収支相償

公益目的事業会計の今年度の収入と支出を見ると、収入は 6,892,269 円、支出は 7,215,747 円で支出が収入を上回っている。今年度の遊休資産は 4,979,712 円であり支出を下回っていることから公益活動に沿った事業運営となっている。

### 財産目録

流動資産は今年度の支出超過 67,659 円により 4,979,712 円となった。

固定資産は 298,547,143 円で昨年度と同額である。

佐倉国際交流基金に負債はなく、2021 年度の正味財産は 303,526,855 円となった。

### 議長

松井監事より監査の報告をお願いしたい。

私たちは、2021年4月1日から2022年3月31日までの会計年度における会計及び業務の監査を行い、次のとおり報告する。

#### 1 監査の方法の概要

- (1) 会計監査について、帳簿並びに関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続を用いて、財務諸表並びに収支計算書の正確性を検討した。
- (2) 業務監査について、理事会及びその他の会議に出席し、理事から業務の報告を聴取し、関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続を用いて業務執行の妥当性を検討した。

#### 2 監査意見

- (1) 貸借対照表、正味財産増減計算書、財産目録及び収支計算書は、会計帳簿の記載金額と一致し、法人の収支及び財産の状況を正しく示していると認める。
- (2) 事業報告書の内容は、真実であると認める。
- (3) 理事の職務執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な過失はないと認める。

### 議長

第1号議案 2021年度事業報告、並びに第2号議案 2021年度決算報告について質問及び意見があれば受ける。

第1号議案並びに第2号議案について了承頂ける方は挙手を願う。



《全員挙手》

議長

全員賛成ということで第1号議案 2021年度事業報告、並びに第2号議案2021年度決算報告は承認された。

次に、第3号議案 公益財団法人佐倉国際交流基金 2022年度助成金交付について事務局長より説明を願う。

事務局長

2022年度助成金申請団体一覧の説明をする。

昨年度と同様、1団体、佐倉中文会の申請である。コロナの影響により近年は申請が減っている。

議長

第3号議案 2022年度助成金交付について質問並びに意見があれば受ける。ないようなので、第3号議案について了承頂ける方は挙手を願う。

《全員挙手》

議長

全員賛成ということで第3号議案 2022年度助成金交付について承認された。今後の助成金申請については、昨年度と同様に三役会で審議した後、理事長が承認することとする。

次に第4号議案 2022年度評議員会開催について事務局長より説明を願う。

事務局長

評議員会の開催日時・議案・議題に関しては理事会で決定するということになっており、事前に評議員の都合をうかがった結果、今期は6月10日に設定した。

議題は

第1号議案 2021年度事業報告について

第2号議案 2021年度決算報告について

監査報告

報告事項

(1)2022年度 事業計画・予算案について

(2)2022年度 助成金交付について

である。

議長

只今の第4号議案2022年度評議員会開催について、何か質問並びに意見があれば受ける。

ないようなので、第4号議案について了承することによろしいか。

賛成の方は挙手を願う。

《全員挙手》

議長

全員賛成で第4号議案 2022年度評議員開催は承認された。  
以上で決議事項、4議案を終了する。

次に報告事項、業務執行理事の業務報告を安藤常務理事より報告する。

安藤常務理事

それでは業務執行理事を代表して説明する。

佐倉市との2022年度業務委託契約の締結、2021年度佐倉国際交流基金の  
内部監査、2022年度第1回三役会実施、ウクライナ避難民受け入れ対策などを  
実施した。

議長

質問並びに意見があれば受ける。  
《特になし》

議長より閉会を宣言し、2022年度第1回通常理事会は終了した。

(議事録作成者 関口優紀)

以上、2022年度第1回通常理事会議事録に相違ないことを証する。

2022年 5月 24日

議事録署名人

議長(代表理事)

奥倉昌男



監事

石渡孝



監事

松井駿介



